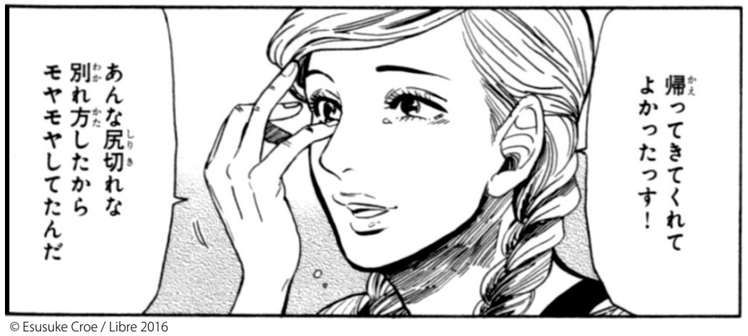
自分の気持ちを言葉にしよう

名前　　年　　組　　番

目標

・気持ちをあらわすオノマトペについて理解する。
・気持ちをあらわすオノマトペを使って、自分の気持ちを効果的に表現する。



© Esusuke Croe / Libre 2016

私たちの生活の中にはオノマトペがたくさんある。たとえば、雨がふる音をあらわす「ザーザー」や、静かな時をあらわす「シーン」などだ。その中でも、「ガーン」や「ウキウキ」など、気持ちを表すオノマトペも多い。自分の気持ちを言葉にする時、オノマトペほど生き生きした“感じ”が伝わる言葉はないだろう。自分の体験や思いを伝えられるよう、オノマトペを効果的に使う練習をしよう。

❶ 上の漫画を参考に、心が大きく動いたことを思い出して、その時の気持ちが読む人に伝わるように、気持ちをあらわすオノマトペを書き出そう。

観点を立てる
まずは、対象となる出来事の特徴を伝えるための観点を立てよう。
思い出なら、「時」「場所」「人」などが観点となる。

言葉を集める
次の手順で、言葉をできるだけ多く集めよう。
・観点ごとに思いつく言葉を挙げる。
・挙げた言葉から近い意味のオノマトペを考える。

❷ 集めた言葉と気持ちのオノマトペを使い、心が大きく動いた時のことを百字程度で書こう。
自分が感じた気持ちを、読み手にも同じように感じてもらえるように、言葉の使いかたを工夫しよう。

サムライせんせい
高知県在住の漫画家、黒江S介（くろえ えすすけ）先生が描いている、現代にタイムスリップしてきたサムライが主人公のストーリー漫画です。

50　100　120

一二〇字

学習を振り返る

・気持ちを表すオノマトペと、その効果について理解できたか。
・さまざまなオノマトペを工夫して使い、読み手に伝わるよう文章に活かすことができたか。